



1. 患者さんの権利と意思を尊重します。
2. 地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
3. 教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

# 群馬県立がんセンターだより

## 第40号

発行：2019年3月

発行元：群馬県立がんセンター

### GUNMA PREFECTURAL CANCER CENTER NEWS



医療局長  
高橋利文

#### 病院と働き方改革

昨年末、ノーベル医学・生理学賞を受賞され話題となった本庶佑先生の研究により開発された免疫チェックポイント阻害薬は、すでになんがん治療に広く使用されるなど、がんの薬物療法はここ数年、目覚ましく進歩しています。さらに、重粒子線治療、ロボット手術、ゲノム医療など、医療は複雑化し、ますます手間とお金がかかるようになってきました。

一方、日本社会はおよそ30年にも及ぶ低迷の中で、様々な所に信頼性の低下や綻びが生じてきました。年金問題や医療制度崩壊の危機など将来へ向けて不安も感じられます。人口減少、特に労働力人口の減少、過重労働、長時間労働、過労死等の問題が起こり、働き方改革が議論されてきました。

病院勤務についてはより複雑な問題があり、人手不足の中で実行性のある対策をとることは難しいでしょう。医師の偏在・地方での医師不足が、すぐに解消されるとは思われません。当院でも医師事務作業補助を増員するなど、業務の軽減と効率化に努めてきています。

医師などの医療従事者を一般事務職や工場勤務等と同じやり方で、就労時間や時間外労働時間で縛るのはそもそも無理があります。特に医師については、仕事の仕方を自ら決められる面が多くあり、労働時間と疲労度は必ずしも一致しないと思います。その中で、大切にしている事を優先しながら、ワークライフバランスに合わせた働き方の多様性を受け入れられる仕組み作りが必要と考えます。

また、働きやすい環境として、部署内、部署間での平等性、公平感は重大な要素で、特定の人や特定の職種のみ、忙しく余裕無く働いていることがないように、連携して協働してゆくことが必要です。チームとしてのモチベーションを維持し、個々としてやりがいを持って仕事を続けられるように、地域全体で、目的を共有化することを含めて、連携を高めて医療を提供していく必要があります。

医療者側からは、正しい情報発信が重要ですが、医療を受ける側も様々な要望を出していただき、正しく情報収集し、賢く治療・生き方を選択する時代となってきています。

人生、何とかなるさ。どんな努力をしたところで、結末は神のみぞ知ると言う事かもしれませんが、悔いを残さないため、周囲の協力を得ながら、自らの意思で積極的に参加することが求められています。



Work Life Balance



## Title がんゲノム医療について

当院は、2018年10月に「がんゲノム医療連携病院」に指定されました。今回は、この「がんゲノム医療」についてのお話を、湊副院長からお聞きしましたので、ご案内いたします。

がんは、細胞の中にある遺伝子に変化が起こり、細胞が無秩序に増殖し、他の臓器に転移する性質を持っています。このようながん細胞に起こった遺伝子変化を解析した情報を基にして、治療法を選択したり、がんの発症の予防を行う医療をゲノム医療と言います。

2018年4月、日本全国に11カ所の“がんゲノム医療中核拠点病院”が指定されました。それぞれのがんゲノム医療中核拠点病院と連携してゲノム医療を実施する“がんゲノム医療連携病院”も指定されました。当院は、半年遅れましたが、2018年10月に群馬県では初となるがんゲノム医療連携病院に指定されています。当院は、国立がん研究センター中央病院の連携病院になっています。現時点では、まだ、開始されておらず、がんゲノム医療中核拠点病院と調整中です。

次世代シーケンサーという機械を用いて一度に多数の遺伝子の変化を検査する遺伝子パネル検査が今後保険適用される予定です。個々の腫瘍の遺伝子変化がわかるようになります。この検査を使ってがんゲノム医療が進められていく予定で、以下に検査から治療までの流れを示します。

当院を受診されて対象となるがん（現時点でがんゲノム医療中核拠点病院を中心として行われているのは、治療切除できないあるいは再発の原発不明がんおよび標準治療のない固形がんの方に行われています）でゲノム検査／治療を希望される方に検査等の説明を行います。腫瘍標本がある場合にはゲノム検査が可能で（ない場合は腫瘍の組織採取ができることが条件となります）、腫瘍標本をゲノム検査に提出します。

ゲノム検査結果が出ますと、がんゲノム医療中核拠点病院である国立がん研究センター中央病院で専門家を集めた会議（エキスパートパネル）が開かれ、検査結果や治療法などに関する報告書が作成されます。これを基に、当院で患者さんにゲノム検査の結果と治療内容（治験・臨床試験等の情報）、遺伝性腫瘍の有無などに関して説明します。

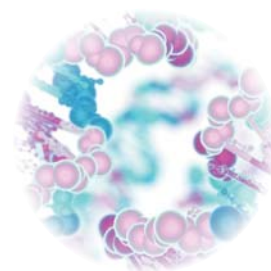
その後、治験・臨床試験を実施している施設への紹介や当院での治療の実施となります。

遺伝子パネル検査ができるようになってもいくつかの問題点があります。

- (1)保険適用になっても遺伝子パネル検査費用が高額になる可能性があります。
- (2)いずれの遺伝子変化も陰性であったり、遺伝子変化が認められても適切な治療薬がない場合があります。
- (3)家族性に遺伝する腫瘍が明らかになることがあり、遺伝カウンセリングが必要になる場合があります。

当院でも遺伝カウンセリング部門を設置していますので、こちらでの診療が必要になります。

まだ、不明な点もあり、修正されていくと思います。今後個々の患者さんに最適な治療薬を間違いなく届けるための重要な医療であると思われれます。



◀2018年10月27日（土）にテクノプラザおおたで開催された「がんゲノム医療セミナー」の様子  
一般県民を対象に開催しました

## 行事紹介

### リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 ぐんま

リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指すチャリティイベントです。

「がん患者は24時間、病いと向き合っている」という想いを共有し支援し、ともに歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいという主旨で、現在世界約30ヶ国、約6000ヶ所で開催され、日本では50ヶ所で開催されています。

群馬県では2013年に初めて開催され今回が6回目となります。患者会や病院関係者だけでなく、一般の方々にも広がりつつあり、今回は参加87チーム、来場者数のべ8300人と過去最大の規模となりました。



がんセンターも初回から参加しており、今回は職員や家族173名が参加してくれました。24時間を交代で歩き続ける「命のリレー」は、夜になると患者さんやご家族、職員が描いたルミノリエが点灯され、幻想的な雰囲気の中で行われました。



### クリスマスコンサート

患者さんと季節を楽しもうと、恒例の「クリスマスコンサート」を12月18日に2階外来ホールで開催しました。

今回は、ピアノとボーカルのお二人をお迎えし、素敵なピアノ演奏と心温まる歌声を聞かせてくれました。

サンタクロースとトナカイの息の合った進行により、この季節にあった「ペチカ」「スキー」「星に願いを」などが演奏されました。

参加者が一緒に歌う場面などもあり、楽しく、和やかな雰囲気です。素晴らしい一夜となりました。



### 出張講座のご案内

#### “正しく知ろう『がん』のこと”出張講座を承ります

当センター職員が地域や団体の集会などにお伺いし、「がん」に関するセミナーの講師を務める「正しく知ろう『がん』」のご出張講座を開始しました。

「肺がんの最新治療」「乳がんについて知ろう!」など医師によるセミナーのほか、「ストーマケアのポイント」「抗がん剤のつきあい方」など、認定看護師やコメディカルによるセミナーまで多彩なテーマをご用意しております。

講師派遣についての費用は無料ですので、お気軽にご利用ください。

詳しくはがんセンターホームページをご覧ください。



# 外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

2019年3月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	野川 秀之	保坂 尚志	野川 秀之	山下 哲	保坂 尚志
		血液	五十嵐 忠彦	五十嵐 忠彦 入沢 寛之 村田 直哉	村山 佳予子	村山 佳予子 村田 直哉	五十嵐 忠彦
		呼吸器	湊 浩一 (午後/禁煙外来) 藤本 栄	藤本 栄		今井 久雄	
	外科	消化器	消化器外科医師 (午後)	消化器外科医師 (午後)	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 小川 敦 小澤 大悟	尾嶋 仁 (新患) 深井 康幸 持田 泰 小澤 大悟	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 小川 敦 小澤 大悟
		乳腺	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下 亜希子	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下 亜希子	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳田 康弘 宮本 健志 (遺伝)
		呼吸器			藤田 敦 小野里 良一		藤田 敦 小野里 良一
		形成	廣瀬 太郎				廣瀬 太郎
		骨軟部腫瘍				柳川 天志 (午後)	
		(リンパ浮腫)	リンパ治療・指導	リンパ治療・指導	リンパ診断		
		(ストーマ外来)			午前/ストーマ外来	午前/ストーマ外来	午前/ストーマ外来
第二外来	婦人科	中村 和人 山下 宗一 木暮 圭子 東 杏莉	中村 和人 山下 宗一 木暮 圭子 東 杏莉	鹿沼 達哉	中村 和人	中村 和人 山下 宗一 木暮 圭子 東 杏莉	
	歯科口腔外科	新垣 理宣		新垣 理宣		新垣 理宣	
	頭頸科	鈴木 政美 (午前/再診)		鈴木 政美 (午前/再診)		鈴木 政美 高橋 亮介 (午前/再診)	
		鈴木 政美 (午後/新患)		鈴木 政美 (午後/新患)		鈴木 政美 頭頸科医師 (午後/新患)	
	麻酔科	麻酔科医師				麻酔科医師 (午前/術前診察)	
	泌尿器科	清水 信明 蓮見 勝 泌尿器科医師 (午後/新患のみ)	清水 信明 村松 和道 泌尿器科医師 (午後/新患のみ)		清水 信明 蓮見 勝 村松 和道	清水 信明 蓮見 勝	
精神腫瘍科			村上 忠				
放射線科	放射線	江原 威 永島 潤 安藤 謙	永島 潤 安藤 謙	永島 潤 安藤 謙	永島 潤 安藤 謙	永島 潤 安藤 謙	

\*緩和ケア外来の受診を希望される方は「がん相談支援センター」へお問い合わせください。直通電話:0276-60-0679

## 診療予約 \*初診、再診ともに予約制です。

### ●初診紹介予約制について

当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。

### ●がん検診について

当センターでは、がんの検診(一次検診)は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行っております。

**予約専用電話 0276-38-0762**

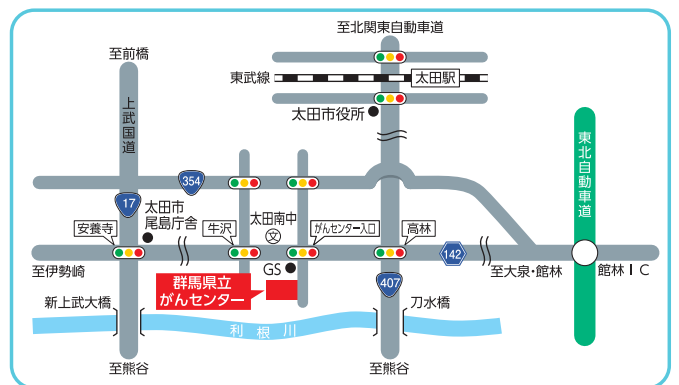
電話受付時間/平 日:午前9時~午後5時

土曜日:午前9時~午後1時

\*ただし、診療を希望される前日の午後1時までに連絡してください。

休診日/土・日曜日、祝日、年末年始

**入院者の面会時間 午後0時30分~午後7時30分**



**群馬県立がんセンター**

〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1

TEL.0276-38-0711(代) FAX.0276-38-0614

URL <http://www.gunma-cc.jp>